

## SAVE OUR EDUCATION～この危機から教育を救おう

### 日本語概要

世界中で学校が閉鎖され、約 10 億人近くの子どもたちがその影響を受けている状況と同様に、ソマリアのハウォさん（13 歳）が通う学校も、新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界的大流行）対策で閉鎖されています。

ハウォさんにとって、教育が中断されたのはこれが初めてではありません。2017 年に村が干ばつに襲われたとき、彼女の家族はすべてを失いました。この 3 年間の間に、家族は新しい家に落ち着き、新しい生活を築き始めました。ハウォさんは学校に戻り、再び勉強ができることに喜びを感じていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症は、彼女の生活を再び一変させました。

彼女の住む村ではテレビやラジオを受信できないため、学校が閉鎖されている期間中、勉強を続ける方法は限られています。

「勉強を続けたり友だちに会うことができる学校にいつ戻ることができるかわかりません。本当に不安です」と彼女は言います。

### 今私たちは、生涯で最大かつ世界的な教育の緊急事態にある

今、ハウォさんの、そして世界中の何百万人もの子どもたちの希望である教育が深刻な危機に瀕しています。2020 年 4 月上旬、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を食い止めるため、世界全体で推定 16 億人の生徒（全体の 91%）が通学できなくなっています。人類史上初めて、世界中の子どもが丸ごとひと世代、教育が中断されるという事態が発生しています。

この緊急事態は、既存の学習危機をさらに深刻な状態にします。持続可能な開発目標（SDGs）の目標 4（すべての子どもたちに質の高い教育を）に関するユネスコの最新の予測は悲観的で、通学できない子どもたちの数を 2030 年までに減らすことはほぼ見込めないと予測しています<sup>1</sup>。これは、**何百万人もの子どもたちが学校に行けないこと、また学んでないことを表しています。多くの子どもたちが、生涯に限られた機会しか手に入れられないこととなります。**

---

<sup>1</sup> UNESCO, (2019). Meeting Commitments? Are countries on track to achieve SDG4? <http://uis.unesco.org/sites/default/files/documents/meeting-commitments-are-countries-on-track-achieve-sdg4.pdf>

パンデミックが発生する前、1億3,000万人の女子<sup>2</sup>を含む2億5,800万人の子どもたち<sup>3</sup>が学校に通えていませんでした。低中所得国の10歳の子どもたちの53%は読んで理解することができず、低所得国ではその数が80%まで増加します<sup>4</sup>。

目標4の達成期限まで残り10年を迎えた今、教育目標達成のためのレトリック（美辞麗句）と、現実との間に広がるギャップの埋め方を、世界がどのように提示するかが喫緊の課題となっています。

**最も貧しく取り残された子どもたちは、特に、教室に戻れず学ぶ機会を得られないことから、リスクにさらされています。**

学校は子どもたちが学ぶための場所を提供するだけではありません。学校は、多くの子どもたちにとって、食事の提供を受けたり、メンタルヘルスを含む保健医療サービスにアクセスしたり、友だちと遊んだりできる安全な場所です。教師は子どもにとって、第一線に対応し守ってくれる存在です。しかし、学校が閉鎖されると、子どもたちは学校環境が提供するこうした重要な機能を享受できなくなります。

一部の国では感染が収まりはじめ、幼児教育センターや学校が再開し、子どもたちが戻りはじめています。各国は、ウイルスがまだ存在する環境、また新たな生活様式に適応しなければならない環境のもと、物理的距離、交代制による学習、衛生習慣の重視、また子どもの心身の健康に対する懸念など、学習を進めるうえでのさまざまな課題に直面しています。

世界で最も脆弱な立場に置かれた子どもたちは、そもそも学校に通えていなかったかもしれません。そうであれば、今後学校に戻ることは難しいでしょう。そうした脆弱な立場に置かれた子どもたちとは：

- 新型コロナウイルス感染症により貧困に陥り、家族の食事と住まいを確保するために働かなければならない子どもたち。
- ジェンダーに基づく暴力や早すぎる妊娠、児童婚のリスクの高まりに直面し、暴力と貧困のサイクルから抜け出せず、可能性を十分に発揮する機会を奪われた思春期の少女たち。
- ミャンマーから逃れざるを得なかったロヒンギャの子どもたちや、紛争から逃れてきたシリアの子どもたちといった、難民・国内避難民の子どもたち。これらの子どもたちは、人々が密集した難民キャンプに暮らし、基礎的な保健医療が限られている、もしくは受けられず、また、学ぶ機会も多くはありません。
- 武装勢力に利用されるリスクがある紛争下の子どもたち、危険で搾取的な労働に従事させられる子どもたち、また結婚や妊娠を強いられる子どもたち。

<sup>2</sup> Malala Fund, (2016). New report says 130 million girls are out of school — so how did that number get so high? <https://blog.malala.org/new-report-says-130-million-girls-are-out-of-school-so-how-did-that-number-get-so-high-162d8e2f2570>

<sup>3</sup> UNESCO, (2019). New Methodology Shows that 258 Million Children, Adolescents and Youth Are Out of School.

<http://uis.unesco.org/sites/default/files/documents/new-methodology-shows-258-millionchildren-adolescents-and-youth-are-out-school.pdf>

<sup>4</sup> World Bank, (2029). Why focus on learning? <https://blogs.worldbank.org/education/why-focus-learning>

- これまでも多様なニーズを持つ子どもを受け入れるインクルーシブ教育の機会をなかなか得られていなかった障害のある子どもたち。パンデミック以前から、学校に通えていない子どもたちの 15% を、障害のある子どもたちが占めていました<sup>5</sup>。

**何百万人もの子どもたちが教育の機会を失うリスクにさらされています。彼らが将来その代償を払うこととなります。**

学校に戻った場合でも、多くの子どもたちは学びや健やかな成長を妨げられる可能性があります。低所得国や紛争の影響を受ける国においては、最も貧しい子どもたちはインターネットへのアクセスやオンライン学習にアクセスできるデバイス（電子機器）を持っていません。彼らの両親が読み書きに不自由な場合もあります。こうした環境にある子どもたちは、印刷された教材を手にするのができたとしても、十分な水準で学びを継続していくのは難しいでしょう。すでに困難を抱えている家庭に、さらに社会経済上の危機的な状況が追い打ちをかけ、本来であれば学校や先生から与えられる安全や保護、支援がないことから、多くの子どもたちが今後もストレスや不安を抱えていくことになるでしょう。

国際社会は、新型コロナウイルス感染症のワクチンが近いうちに開発、生産され、世界中の誰もが手に入れることができるようになり、世界がより安全になることを期待しています。**しかし、今行動を起こさなければ、パンデミックの長期的な影響は、格差を増大させ、子どもたちの学びに壊滅的な影響をもたらすでしょう。**

**本報告書は、新型コロナウイルス感染症が、最も取り残されるリスクの高い数ヶ国において、教育に対する投資と教育の実施の両面にいかに影響を及ぼし得るのかについて、新しい分析を行いました。**

私たちは、子どもたちが学校に行かない期間が長くなればなるほど、復学できなくなるリスクが増大することを、これまでの危機から学んでいます。

**私たちはこの新しい分析において、パンデミックの影響により、どの国が最も SDG s の目標 4 の進捗が滞る、もしくは後退するリスクが最も高いのかを調べました。調査では、子どもの貧困レベルが増加することにより、学校に戻れない可能性のある子どもが最大で 970 万人にのぼることがわかりました。**

目標 4 の進捗状況に遅れがでる「リスクが非常に高い」国として、ニジェール、マリ、チャド、リベリア、アフガニスタン、ギニア、モーリタニア、イエメン、ナイジェリア、パキスタン、セネガル、そしてコートジボワールの 12 ヶ国を特定しました。

現状、各国政府はパンデミックの保健医療と経済対策への支出を増大させており、今後教育予算に対する圧力がかかっていくだろうと予測されます。

<sup>5</sup> UNESCO GEM (2020). Global education monitoring report summary, 2020: Inclusion and education: all means all. <https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000373721>

私たちの分析では、パンデミックがもたらす経済的な影響により、低所得・中所得国で 2021 年末までに教育に必要な資金が 770 億ドル（約 8 兆 2,400 億円<sup>6</sup>）も不足するだろうと見積もっています。

この試算と同時に、ユネスコは、教育に対する援助が今後 12%減少する可能性があるとする新たな予測を発表しました<sup>7</sup>。

教育に対するグローバルな協調行動が、この危機から世界を回復させるために重要です。私たちは、新型コロナウイルス感染症が、何百万人の子どもたちから、本来彼らが手にすべき未来を奪うことを、何もせずにただ黙って見ているわけにはいきません。だからこそ、セーブ・ザ・チルドレンは、この世代の教育を救うために、子どもや両親、養育者、教師、そして世界のリーダーとともに活動を行っているのです。力を合わせれば、世界中の子どもたちがどこにいても質の高い教育を受け、希望や可能性を実現する機会を持てるようになります。

学校の閉鎖が一つの世代の子どもたちに与える影響は甚大なものになるでしょう。これは教育の緊急事態であり、今すぐに行動を起こすことが求められています。私たちは今行動を起こして教育を守り、一世代の子どもたちの人生の機会を守らなくてはなりません。

この未曾有の危機において、世界は力を合わせて教育を守り、グローバルな回復の努力の中心に教育を位置づけるべきです。

政府やドナーは、以下の 5 つの分野において行動を起こし、この危機を乗り越え、2030 年の SDGs の目標 4 達成に向けてより良い社会を構築することが求められています。

**1. 計画を立てる：グローバルな新型コロナウイルス感染症教育アクションプランに同意し、実施すること。** 現在、教育は世界的な緊急事態にあるため、きちんと計画された、包摂的で、ジェンダー平等を志向した、適切に評価され、かつ責任の所在が明確な、グローバルな対応を協調して実施することが必要です。

**2. 投資する：危機回復のため教育への投資を増加させることを約束すること。** 私たちは、上記グローバル教育アクションプランを実施するのに必要な資金を拠出するようドナー国に求めます。贈与資金 100 億ドル（約 1 兆 700 億円<sup>8</sup>）を含む、350 億ドル（約 3 兆 7,450 億円<sup>9</sup>）が世界銀行やその他の国際開発銀行を通じて動員され、2020 年 10 月に開催される年次総会までに国際開発協会（IDA）による追加融資が可能になることが求められます。

**3. 学びを守る：最も取り残された子どもたちの学びを確実にするような介入を行うこと。** 各国政府は、最も取り残された子どもたちに学びの機会を提供することに焦点をあてた、国家レベルの新型コロナウ

<sup>6</sup> 2020 年 7 月 17 日時点 US1=170 円にて計算

<sup>7</sup> UNESCO GEM Report (2020) COVID-19 is a serious threat to aid to education recovery <https://en.unesco.org/gem-report/node/3141>

<sup>8</sup> 2020 年 7 月 17 日時点 US1=170 円にて計算

<sup>9</sup> 同上

ウイルス感染症下の教育対応・回復のための計画を策定し、実施するべきです。同計画には以下を含む必要があります。

- 遠隔教育プログラムが確実に最も取り残された子どもたちに届くようにすること。
- 教師に継続して給与を支払い、インセンティブを与えること。
- 包摂的で、かつジェンダーに配慮した、「学校へ戻ろう」キャンペーンを実施すること。
- 学校再開にあたり、すべての子どもたちに対し学びの評価を実施し、適切な補習教育を行うこと。
- 最も取り残された子どもたちが学校に戻れるよう、的を絞った介入を行い、社会的保護を拡大すること。
- 少女が教育を継続することを困難にする法律や政策、有害な社会規範といった、ジェンダーに関連した教育の阻害要因に取り組むこと。

**4. 保護する：学校閉鎖中及び学校の再開の際には、すべての子どもたちが健康で安全であることを確実にすること。** そのためには以下が必要になります。

- 子どもたちにとって学校が安全な環境であることを確実にし、もし再度閉鎖する必要が生じる場合に備えた計画を準備すること。
- 普段から学校給食に頼っている子どもたちに食事を提供すること。
- 性と生殖に関する健康と権利（SRHR：sexual and reproductive health and rights）に関するプログラムを実施し、ジェンダーに基づく暴力に取り組むこと。
- 子どもの保護に関する報告・照会システムが、学校閉鎖中においても適用されるようにすること。
- 保健施設や隔離施設としての学校使用を最小限にすること。

**5. 追跡する：グローバルな教育行動計画の実施や資金拠出は追跡され、説明責任が果たされるようにすること。** 教育関係者は早急に必要な行動を調整し、本報告書で提示している以下の3つの優先分野において進捗状況の追跡を進めることが求められます。

- 学校が閉鎖中であっても、学びを継続すること。
- 学校の安全な再開に向けて準備をすること。
- より良く、強靱な（レジリエントな）教育制度を構築すること。

以上